

自衛隊連携訓練を実施

大規模災害時における自衛隊との連携体制を検証する目的で、7月24日（金）に海上自衛隊と連携訓練を実施します。

見学会を行います

海上自衛隊による艦船接岸検査の訓練にあわせて、艦船の見学会を行います。岸壁から見学ができますので、左記の時間にご自由にご覧ください。

●見学時間

7月24日（金） 13時～16時
25日（土） 9時～12時

●見学場所

大磯港管理事務所西側

※艦船接岸と見学会は、天候等により中止する場合があります。
☎ 危機管理課 内線244

防災生活情報の

ツイッターを始めました

大磯町防災生活情報のツイッター(@bousaiiso)配信を開始しました。

町ホームページやメール配信と併せて情報取得手段として、ぜひご利用ください。



上記QRコードを読み込んでいただくか、<https://twitter.com/bousaiiso>にアクセスし、フォローをお願いします。

☎ 危機管理課 内線244

消防団員がポンプ性能検査と遠距離放水訓練を実施しました。

5月17日、生沢東の池及びその周辺で、97名の消防団員が参加し、ポンプ性能検査と遠距離放水訓練を実施しました。

ポンプ性能検査では、消防団に配備している消防ポンプの性能が規格に適合しているか検査を実施しました。

また、遠距離放水訓練では、災害時に消火栓が使用出来ないことを想定し、部隊で連携し東の池から離れた火点にホースを延ばして、放水する実践的な訓練を行いました。



☎ 消防総務課 (61) 0911

救急の現場から④ 熱中症対策について

今年も「熱中症」という言葉がニュースで聞かれる季節になりました。熱中症対策は大丈夫ですか？

消防職員も夏季の救急・火災出動等では、首に冷却タオルを巻いたり、スポーツドリンクを携帯して対策をしています。

ところで、ある救急現場ではこのようなことがありました。

ある初夏の夜、脱力感とめまいを覚えた高齢者の方から救急要請があり、部屋に入ると「むっ」とする暑さ。窓は閉まっています、扇風機はカラカラと回っていました。救急隊は、窓を開けて外気を取入れながら容態観察を始めたところ、皮膚は熱く、全身に汗をかいていました。本人に麻痺や痛みは自覚はありませんでした。事情を聴くと：

「日中は緑茶で水分補給をこまめに摂るようにしている。」
「夜間はトイレに行くのが面倒なので、寝る前の水分補給は控えている。」

「かかりつけ医院では、高血圧のため医師から塩分を控えるように指導されており、極力塩分摂取はしていない。」
「夜間は防犯のため、窓を閉めてカギをかけている。」

「エアコンは冷えすぎるので好きではない。昔から扇風機を使っている。」

「実は、朝から下痢をしている。」という話を聞くことが出来ました。

【救急隊の考え】

- ・汗をかく季節なのに、お茶だけで水分補給して、塩分も控えている。（適度な塩分も必要なのに…）（寝る前の水分補給も大切なのに…）
- ・窓を閉切り、この蒸し暑さ。
- ・下痢で体の水分も不足している。



⇒これは、熱中症が疑われるな！

この方は救急搬送後、熱中症と診断され、点滴処置と整腸薬を処方された後帰宅されたそうです。みなさん、心当たりはありませんか？

この方は、幸い軽症ですみましたが、家族の発見が遅れたり、本人が我慢をしすぎることで、入院治療が必要になったり命を落してしまう危険性もありました。

多くの熱中症は、対策することで予防ができます。危険性を理解して、熱中症対策を実行しましょう。

☎ 消防署 (61) 0911